

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

県内水産関係団体 鈴木知事へ政策・予算を要望 -7月2日(水)三重県庁で-



7月2日(水)、三重県庁に於いて、漁連・信漁連・漁済・共水連・漁船保険・基金協会などの水産関係団体と、鈴木英敬知事との意見交換会が行われた。

水産関係団体は、下記の内容を中心とした政策・予算の要望を行い、鈴木知事と直接意見を交換した。

今回の要望が、来年度以降の国・県の政策や、予算編成に反映されることが期待される。

【重点要望事項】

- ① 養殖業再構築
- ② 漁業後継者対策
- ③ 水産物消費拡大の推進
- ④ アサリ等二枚貝資源の安定化
- ⑤ 浜の活力再生プランの継続
- ⑥ 燃油(高騰)対策の推進
- ⑦ 水産多面的機能発揮対策の推進

三重県漁業担い手対策協議会 発足 -6月27日(金)松阪で-



6月27日(金)、三重漁連のり流通センターに於いて、三重県漁業担い手対策協議会の設立総会が開催された。

同協議会は、右肩下がり減少している漁業就業者の担い手を確保するため、様々な対策を進めることを目的として設立された。

会員は、漁連・農林水産支援センター・市町等で構成され、三重県が事務局を務める。

設立にあたり、規約の承認や役員選出がなされ、協議会会長に県漁連常勤監事の長井理氏、副会長に県農林水産部次長の藤吉利彦氏が就任した。

また、今後の活動については「作業部会」を設置した上で課題等を協議し方策を練ることで一致した。第1回の作業部会は7月16日(水)に開催を予定している。

四日市港湾災害対策協議会総会

—7月1日(火)四日市で—



7月1日(火)、四日市港ポートビルに於いて、平成26年度四日市港湾災害対策協議会総会が開催され、25年度事業報告などが原案通り可決された。

また、本年度の石油コンビナート・海上合同防災訓練の概要が説明され、流出油等の事故を想定した図上演習が行われた。

平成26年度第1回アサリ協議会

7月15日(火)に開催します！

三重県アサリ協議会(前田晃一会長＝松阪漁協)は、7月15日(火)三重漁連のり流通センター(松阪市)で平成26年度第1回アサリ協議会を開催する。

同協議会は、県内アサリ資源の維持増大、ならびにアサリ採貝漁の振興等を目的に、主にアサリ採貝漁を営む伊勢湾沿岸の漁業者と関係機関らによって構成されているもので、毎年、定期的に研修会や意見交換会などを行っている。

第1回となる今回は、県研究機関から伊勢湾のアサリ資源の動向や母貝育成、稚貝の有効活用施策などについて研究報告があり、その後、各浜の現状を踏まえて意見交換が行われる予定。

なお、参加は関係者に限定されているが、興味がある方は問い合わせをお願いします。(三重県アサリ協議会事務局：三重県漁連指導部 059-228-1205)

「青い羽根募金」ご協力のお願い

三重県水難救済会

日本水難救済会と地方水難救済会は7・8月を「青い羽根募金強調運動期間」とし、募金活動を展開する。

「青い羽根募金」とは、海で遭難した人を救助するボランティア救助員への支援を目的としてつくられたもの。

海難事故での犠牲者をなくすため、今年も募金へのご協力をお願いします。

(※募金に関する詳細は、後日お知らせします。)

台風8号にご注意ください！

4日に発生した、大型で強い勢力を保っている「台風8号」は、11日午前三重県に最接近する見通し。10日の朝頃から風・雨ともに強まる予報のため、早めの警戒をお願いします。

【主な予定】

- 7月10日(木)
国際協同組合デー記念
ワンコインコンサート(津)
- 7月12日(土)
三重県農林水産就業フェア(津)
- 7月15日(火)
第1回三重県アサリ協議会(松阪)
- 7月16日(水)
三重県漁業担い手対策協議会作業部会(津)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。